A 試合会場レポート

2018-19 V.LEAGUE DIVISION1 MEN　レギュラーラウンド

試合番号 **199**　開催日 **2019/01/27**

会場： **松本市総合体育館**

観客数:1150	開始時刻:15:00	終了時刻:16:18	試合時間:1:18	主審:戸川　太輔	副審:中山　健

パナソニックパンサーズ

監督　：　川村　慎二
コーチ　：　古田　博幸

通算　：　**18** 勝 **2** 敗
ﾎﾟｲﾝﾄ　：　**54**

FC東京

監督　：ロディ　アレッサンドロ
コーチ　：坂本　将康

通算　：**6** 勝 **14** 敗
ﾎﾟｲﾝﾄ　：**18**

3	**25**	第1セット【0:24】	**19**	**0**
	25	第2セット【0:24】	**17**	
	25	第3セット【0:24】	**21**	
		第4セット【】		
		第5セット【】		

ﾎﾟｲﾝﾄ **3**　【 】内はセット時間　（）内は交代選手　ﾎﾟｲﾝﾄ **0**

<監督コメント>

本日もサーブが機能し、良い流れでゲームを進める事ができた。
３セット目、少しミスが目立つ場面が見られたので、来週に向けしっかり修正していきたい。
本日もたくさんのご声援ありがとうございました。
また来週の熊本大会もよろしくお願いします。

25	久原	大竹(山添)	第1セット	栗山	手塚(玉宅)	**19**
	山内	兒玉		手原	小森	
	深津(陳)	ｸﾋﾞｱｸ(福澤)		ﾃﾞﾛｯｺ(野瀬)	小田嶋(平田)	

リベロ: 永野　リベロ: 橘

25	大竹(山添)	兒玉	第2セット	手原	栗山(平田)	**17**
	久原	福澤		ﾃﾞﾛｯｺ(野瀬)	手塚(玉宅)	
	山内	深津(陳)		小田嶋	小森	

リベロ: 永野　リベロ: 橘

25	久原	大竹	第3セット	小田嶋	ﾃﾞﾛｯｺ(野瀬)	**21**
	山内	兒玉		小森(長友)	手原	
	深津(陳)	福澤		手塚(玉宅)	栗山	

リベロ: 永野　リベロ: 橘

			第4セット			

リベロ:　リベロ:

			第5セット			

リベロ:　リベロ:

<監督コメント>

本日はご来場頂きありがとうございます。
成長した姿を見せたかったです。サーブレシーブは上手くいったと思います。パナソニックは毎セットの初めはとても強かった。とても集中していた。でも私たちはプレーを辞めずあきらめなかった。

<要約レポート>

現在首位を走るパナソニックパンサーズと、現在８位であるが、前日の勝利で勢いに乗り連勝して上位を目指すFC東京との一戦。
第１セット、高さのあるブロックでワンタッチをチャンスボールに繋げる持ち前のバレーでパナソニックが序盤優位にゲームを進めたが、チームの要であるクビアクが守備の際に負傷し交代となり、FC東京が手塚のライトからの攻撃などで連続得点して粘りを見せた。しかし、クビアクに代わった福澤の巧みな攻撃や山内の速攻でパナソニックが押し切り先取した。
第２セット、序盤は完全なパナソニックのペースだったが、中盤FC東京が詰め寄り一進一退の攻防となった。しかし、深津の起死回生のレシーブもあり、終盤は兒玉のサーブで崩し、山内、大竹のブロックで得点を重ねたパナソニックが一気に抜け出してセットを連取した。
第３セット、序盤から中盤はクイックを多用して活路を見出したFC東京が食い下がり、両チームサイドアウトを繰り返す好試合となったが、14－14からパナソニック久原の連続サービスエースなどで終盤抜け出してセットカウント３－０でパナソニックが勝利を収めた。

作成者 ： 中村　元治

※本票の著作権は一般社団法人ジャパンバレーボールリーグに帰属します。